ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	No.2(右岸)	調査位置				北　緯	36 ° 46 ' 20.0000 "
発注機関	栃木県矢板土木事務所			調査期間	2010-08-17 ～ 2010-08-19	東　経	139 ° 55 ' 05.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	102.05 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	8.02 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	101.45	0.60	0.60		黒ボク (Kb)	黒褐			有機質火山灰土　粘性、含水中位下部、軽石混じる		
1	101.05	0.40	1.00		ローム (Lm)	茶褐			粘性大きく、やや粘土質を呈す少量の軽石混じる		
2	99.95	1.10	2.10		強風化泥岩 (Ms)	褐灰			強風化著しく砂質粘土状を呈す 1.3～1.5m、1.8～1.9m間は暗灰色を呈す		
3					泥岩 (Ms)	暗灰			[3.00]コアは棒状～柱状を主体とする ほぼ水平な層理面が確認できる [4.00]4.3～4.5m間に斜め亀裂あり 4.7m付近は細礫状を呈す [5.50]6.0～6.45m間は亀裂多くコアは岩片状となる [6.50]7.5m以深はやや亀裂多い 7.7m付近に斜め亀裂あり、一部細礫状となる 岩の絶対的硬さは軟質であるが状態は比較的良好である		
4											
5											
6											
7											
8	94.03	5.92	8.02								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	6	9／30	9
1.45					
2.15	16	21	13／5	50／25	>50
2.40	50／4			50／4	>50
3.00					
3.04					
4.00	50／5			50／5	>50
4.05					
5.00	50／3			50／3	>50
5.03					
6.00	50／2			50／2	>50
6.02					
7.00	50／2			50／2	>50
7.02					
8.00	50／2			50／2	>50
8.02					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						08/09
						08/10